

母子保健・児童虐待予防に取り 組む保健師に求められるチカラ

本会は、母子保健活動における児童虐待予防に関する保健師等の人材育成を図るために、様々な研修会等を開催してきました。

今回は、発育・発達・健康の基本的なアセスメントの視点、家庭訪問や多職種連携に必要な能力についてのミニ解説、令和6年度に神奈川県内の自治体保健師の皆様にご協力いただいた母子保健・子ども虐待予防の実態と研修ニーズ調査報告を行います。参加者同士の交流も予定しております。

話題
提供者

横浜市立大学医学部地域看護学教室

教授 有本 梓

助教 赤塚 永貴/大学院生 谷川 愛優花

2025年 6 月28日(土)

14:15 ▶ 16:30

会場 ウイリング横浜 12階 123研修室

参加費 正会員500円 非会員1,000円

学生(非会員も含む)500円

お申込み

右のQRコードからお申込みください。

2025年6月20日まで



講師紹介 有本 梓 氏（横浜市立大学医学部 地域看護学教室 教授）

保健師・看護師・博士（保健学）。専門は、保健師の活動・支援技術の明確化、孤立・孤独感軽減、児童虐待予防、福祉のまちづくり。東京大学大学院医学系研究科修了。自治体保健師、東京大学医学部助教を経て、2022年より現職。横浜市において、保健師対象の現任研修の講師、地域福祉保健計画に関する委員、児童虐待重篤事例等検証委員他、各種委員を務める。日本看護科学学会奨励論文賞、日本地域看護学会奨励論文賞など受賞。かながわ子ども虐待予防研究会の設立に尽力し、総務担当。

第2回 研修会のご案内

日時：2025年9月27日（土）13：30～15：30

講師：関西医科大学 教授 大川 聡子 氏

テーマ：「逆境的小児期体験（ACE）を緩和する保護的小児期体験（PACEs）に着目した地域における育児支援」

会場：ビジョンセンター横浜（西口）405（横浜駅から徒歩5分）

詳細は、後日チラシでの周知、ホームページに掲載します。

かながわ子ども虐待予防研究会 （KanaCap）会員募集！

かながわ子ども虐待予防研究会は「子どもの虐待予防」についての、研修、研究を行う団体です。今年度から賛助会員の募集を開始いたします。

正会員：本会の目的に賛同する看護職（看護学生を含む）個人

年会費：年間 3,000円

講演録のご紹介

2018年9月8日の設立記念講演「世界から学ぶ虐待予防支援」と題して、アメリカの小児科医師 ケンプ理論を中心に講演いただいたもの（パート2も含む）をまとめた講演録を作成しました。保健師等看護職が日々出会う、SOS の声を上げることが難しい親子への支援の礎となる内容です。

★ 小林美智子先生 講演録「これからの子ども虐待予防活動にエールを送る」を会員加入者は無料 提供します。

★ 販売 非会員 1,600円（送料込み）購入希望の方は HP をご確認ください。

かながわ子ども虐待予防研究会（KanaCap）

🌐 HP : <https://kanaphncap.jp>

